



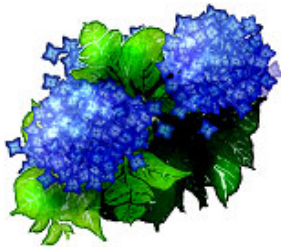
お客様の夢を希望へ、 希望を製品へ、そして進化へ

あいさつ
会社の歳時記
技術の時間
ちょっとコーヒータイム

Vol.20

(有)今泉大伸 
〒441-3131
愛知県豊橋市大岩町字小山塚62-28
:0532-41-8282
FAX:0532-41-8297
E-mail info@imaizumidaishin.co.jp
http://www.imaizumidaishin.co.jp

あいさつ



このたびの東北地方太平洋沖地震災害により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、そのご家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

早いもので、つい半年前まで今年は何をしようかと考えていたものですが、もう半年経ってしまいました。時代は本当に変化しているつくづく感じます。

先日AKB48総選挙を見ました。元々AKB48に特に興味があった訳ではなかったのですが、今、時代はAKB48になっているので時代を見るためにも見てみたいと思った訳です。それは時代の変化についていくためには、時代に触れることこそ大切だと思うからです。

あの西郷隆盛も明治時代、農業による富国と工業による富国政策の対立で下野しました。

しかし、大久保利通は世界を見、時代を肌で感じることで工業による富国の重要さに気がきました。

西郷隆盛も外遊していれば少し考えが変わったかも!?...そう思うのは私だけかも!?

それでは、今月号もお楽しみ下さい。



会社の歳時記

お客様よりご依頼がありまして、バルンサー用のシリンダーを作って欲しいという事で、今回設計致しました。

油の補給する量を計算し、スムーズに動くように致しました。

多くの人から見れば『何？こんな物？』と思うかもしれない物が、ある人にとってはとても深刻な問題であるという事が間々あります。

私たちは、そのような人の手助けになれば、と思っております。



その後、この物件につきましては「上手いきました」という嬉しい御返事を頂きました。

ただ、最近では、難しい案件も多くなって来ていることも事実です。

本当に、勉強することが多くなってきていますので、ますます気が抜けません！

今回の会社の歳時記は、バルンサー用シリンダーシステムでした。

御興味のある方は、一度ご連絡を下さい。

「最近は、技術向上の為に勉強しています」

当社では次のような事を始めました。
前回、当社の近くに豊橋科学技術大学があるという事をお伝えしましたね！

そこで技術をもっと深める為に、当社では現在 豊橋科学技術大学の図書館に通っています。

古い初版本などがかなりありますので、設計時は本当に役立ちます。

昨今シミュレーション技術は向上し、CAD・CAEなどで解析はできます。

しかしモデルの作成や条件の設定などで難しいのも現実です。

また、数値で押さえておくという事は、一つには目安を付けやすい点でもあるのです。

しかし工学系では、積分・微分・行列など、いろいろな数学を使わなくてはなりません。

当社、工学文献より、必要な方程式は数学処理ソフトに依存し、設計と進めています。

そのようにすることによって計算が楽になりますし、データとして保存もできる訳ですから。

今できる事を少しずつ行う、それが今必要な事ではないでしょうか？



ちょっと コーヒータイム

今回のちょっとコーヒータイムは、先日出版されたものがなかなか良い本と感じましたので、それについてご紹介したいと思います。

『**すべてが見えてくる飛躍の法則**』石原 明 / 著という本です。

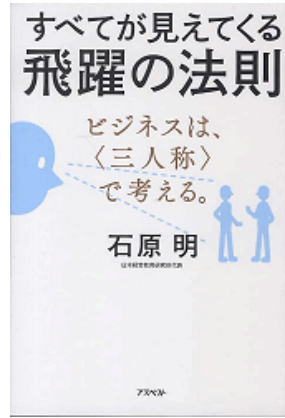
私自身、常々求めているものがありました。

それは、『**お客様を大切にすること**』『**自社を大切にすること**』。そしてそれらの間がバランスよく一致している時は、仕事がうまく進みますよね！

しかし、時としてそれがうまく立ち行かなくなることがあります。

このようになった時はどのようにすべきなのか、またどのようにしていれば自然と対応できるのか、そんな事を考えていたのです。

以前ストレスについてお話しした事があると思いますが、『**人を変えること**』というのはとてもムズカシイ



すべてが見えてくる飛躍の法則
ビジネスは、三人称 で考える。

著者：石原 明
出版：アスペクト
発売日：2012/06/25

しかし、自分を変える、イヤ『**自分の目線を変える**』ということはまだ容易なのではないでしょうか。今回ご紹介する本はそういった事が書かれております。眼からウロコが落ちるといことは、もしかしてこういう事なのかもしれません。

NHK スペシャルに取り上げられた某下請けの塗装メーカーを私も知っておりますが、自分の身近にもこのようなことが起きている事を考えると、時代の変化は相当と考えております。

そんな中、目線を変化させることによる変革が今求められているのではないかと思います。

